1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 7 月 27 日発行　SSKU　増刊通巻第 6500 号

NPO 法人わくわくかん
編集　〒115-0044
東京都北区赤羽南 2-6-6
TEL:03-3598-3337

シャケ Zo くん

SSKU わくわくかん リボン便り

http://www.wakuwakukan.net/

2019 年 8 月号 No.221

？？なぜリボン？？

生まれ変わった
再生したという意味の
（Reborn）。
新しく生まれ変わる
「便り」にしたくて、名付けました。

共同連結成 35 周年となる今年の愛知大会では、９月 13 日（土）の初日にソーネおおぞねを会場に３つの障がい者演劇集団の競演が実現します。

共同連全国大会初日 9.13 に＜演劇祭＞

東京／かたつむり

【はるながまちにやってきた】という劇は、前半に障がい者の自立の道を作った、「かたつむり」事務局長、三井絹子さんの施設での闘いから坐り込み闘争、そして地域への壮大な、障がい者の歴史をテーマにしています。後半は「かたつむり」代表の井上晴菜が自立するまでの日常を、歌あり、ダンスあり、笑いあり、涙ありで演じている体験劇となっています。　**（13 時上演）**

滋賀／まちかどプロジェクト

座長の小石哲也さん（写真中央）は言っています。障害があると街ですれ違ってもなんとなく避けられがち…。

ましてや、僕らの想いなどなかなか伝わらず…。だけど、ひとりの役者が台詞に想いを込めて舞台に立てばいろいろな人と出会えると気づきました。それぞれの人生や心のうちを、ありのままに伝えられる。そんな想いで舞台に立っています。

（15 時上演）

大阪／かすみ荘劇団

「サイボーグ戦士」を脚本／みちのしげのぶ、演出／日比初子（つつじ満開座）で障害のある人もない人も共に演じるかすみ荘劇団です。その物語は一巨大隕石、明日にも地球直撃か！！　焦った各国首脳はサイボーグ研究所のオオヤマダ博士に泣きついた。「パンチで！」「チョップで！」「キックで！」。地球のピンチを救うため、オオヤマダ博士が作った地球最強のヒーローサイボーグ戦士が立ち上がった！その時ＶＴＲが流れた。「巨大隕石で地球をひどい目に合わせる作戦」　ん！？なんだこれは？サイボーグ戦士たちは果たして地球を救うことができるのか？がんばれ、サイボーグ戦士！

（16 時 30 分上演）

３人の障がい当事者が国会に

8月1日から始まる臨時国会に、先の参議院選挙で当選した３人の障がい当事者議員の登壇は、国会そのものに「合理的配慮」を具体的に求める画期的な出来事となった。れいわ新選組から初当選した重度障害者の木村英子（54）さんと、難病「筋萎縮性側索硬化症（ＡＬＳ）」患者の船後靖彦（61）さん、また、岩手選挙区から無所属で初当選し車いす生活を送る横沢高徳（47）さんの３人だ。なお、東京・北区議会で活躍されたろうあ者の斎藤りえさんは残念ながら当選に至らなかった。

木村・船後さんの二人の議席は、本会議場出入り口に大型の車いすのまま着席できるよう改修される。しかし木村さんは、議員活動中は障害者総合支援法に基づく介護サービスへの公費負担が打ち切られるとして、記者会見で、早急に制度が改善されないと活動ができないと訴えた。今後も様々な困難が予想されるが、重度障害者の国会登場へ「合理的配慮」の英断を見守りたい。

今年は旧優生保護法の「救済法」が成立、ハンセン氏病の家族賠償法に続いて、最も遅れていた国会改革が進み始めたことに注視していきたい。

- ✧　8 月 13 日（火）はたらっくす 16:00～（自立訓練室）
- ✧　8 月 17 日（土）共同連マラソントーク in 多摩 13:30～聖蹟桜ヶ丘ヴィーダ
- ✧　8 月 26 日（月）現場協議会 16:30～（スカイブリッジ）
- ✧　8 月 27 日（火）第 2 回家族懇談会 16:00～自立生活について（自立訓練室）

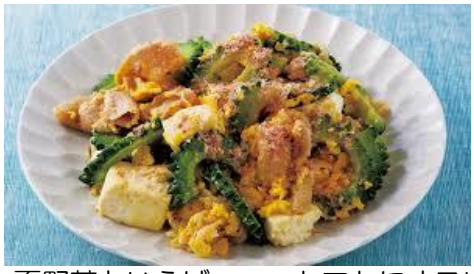
＜わくわくかん 8 月予定表＞

1998 年 10 月 9 日　第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 7 月 27 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6500 号

就労継続支援 A 型事業
北区赤羽南 2-6-6
TEL：03-3598-0089
FAX：03-3598-0089

わくわく配食サービス

ゴーヤチャンプル



夏野菜といえば・・・トマトにナスやきゅうり、たくさんの色鮮やかな野菜が思い浮かびます。その中でも最近ではゴーヤーが身近な夏野菜としてスーパーに並ぶようになりました。ゴーヤーはニガウリと呼ばれるように独特の苦みがありますが、この苦みが「モモルデシン」と呼ばれるゴーヤーならではの栄養成分です。

モモルデシンには「傷ついた胃腸をまもる」「血糖値や血圧を下げる」「頭痛の改善」などの効果があります。またビタミンC、鉄分、植物繊維が豊富です。

ゴーヤーは育てやすい植物でもあり、緑のカーテンにも利用されるようになりました。

夏バテに負けないからだをつくるために、独特の苦みを楽しんでみませんか。

ゴーヤーチャンプル（一人分）

【材料】

豆腐 ----------100g
豚バラ肉 ----------30g
もやし ----------50g
生シイタケ ----------1 個
ゴーヤー ----------15g
卵 ----------1 個
麺つゆ

【作り方】

① ゴーヤーは半分に切り、白い綿の部分をスプーンでこそげとる。
② 薄切りに切り、たっぷりのお水にさらしておく。
③ 肉や野菜、ゴーヤーをごま油でいためる。
④ お豆腐をつぶしてさらに炒め、めんつゆで味付けをする。溶き卵でとじる。

配食サービスの
夏季休業日（昼食・夕食）
8 月 9 日（金）～8 月 11 日（日）

赤羽と十条に分かれ孤軍奮闘
―最近のわくわく配食サービス―

赤羽と十条に分かれて、活動を継続して２年目の夏を迎えようとしています。

最近は、赤羽のお弁当の販売数も６月末と７月初めに大口が増え、１日 20 食前後の増加になりました。平日は朝から大忙しで、調理のスタッフにお手伝いいただいてなんとか間に合う様な状況です。夕食も、急に入院するお客様が続き若干減少傾向ですが、昼食と夕食の提供合計数が 200 食に近づいています。

赤羽の赤字解消の対策を具体的に考えていくためにも、今の状況はありがたいことと思います。今のやり方では、これ以上のお弁当の提供はできるのか？
例えば、盛付けの仕方を変えれば可能になるのか？働く人を増やすしたり、シフト変更すれば可能になるのか？等具体的に検討できる機会になればと考えています。

十条の障害者福祉センター内の生活介護を利用する方に対する給食の提供も２年目になり、更に安心安全な給食を提供するために担当者は、忙しい日々を送っています。

当事者スタッフの頑張りも、２年目になりより積極的にお一人お一人の果たす役割も広がっています。体調管理を含めての取り組みには、頭が下がる思いです。

赤羽と十条と離れているため、なかなかスタッフ同士の情報共有も時間が取れない状況です。

忙しい雰囲気にならない様に、こころがけつつ少しづつ顔を見ながら当事者スタッフ含め話し合いができるような時間を作れる様にしていきたいと考えています。

そうしていくためには、課題は多いですが考えていかなければ実現出来ないとの思いで取り組みたいと思います。

1998 年 10 月 9 日　第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 7 月 27 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6500 号

自立訓練（生活訓練）事業 ボランティア響会

通称 響（ひびき）

〒114-0032　北区中十条 1-2-18
北区障害者福祉センター4F
TEL 03-5963-6888

おちゃのこ祭祭に出展

おちゃのこ祭祭で、ひびきから手作りの小物を出店しました。作業プログラムでしおりを作りました。そのしおりはかた紙に和紙を貼り、最後に穴を開け、ひもをとおして作りました。又、松ぼっくりにわたや目をつけて人形を作りました。私自身、人形を作ったのは、初めてだったので、すこし苦心しましたが、これを手に取り買ってもらえる様子を想像しながら作ると、とても楽しく作業できました。ちなみに、私がお客さんとして会場で買った中古のパズルは、いまだに完成せず苦戦しています。　　(H.T)

おちゃのこ祭祭の前日は、出席者全員で準備をしました。わくわくかんの看板の文字をプリントしたり、出店予定の小物をまとめて箱詰めをし、会場へと運びました。会場では、ちょっとバタバタしましたが、販売の準備が少しずつセッティングできました。当日は、思ったより多くのお客さんが足を運んで下さり、うれしい忙しさで、販売は好調でした。OB.OG の方の応援にも大変感謝しています。フランクフルトは完売でした。　　(E.A)

〈音楽のプログラム〉

ほぼ毎週火曜日の午前中、音楽のプログラムをしています。前半はカラオケ、音楽鑑賞をし、後半はハンドベルの練習をします。カラオケは LD なので、古い曲ばかりです。音楽鑑賞は各自好きな CD や YouTube で音楽を聴きます。後半はハンドベルで、最近は中島みゆきの「糸」を練習しています。だいぶまとまってきましたが、最後の一歩がもう少しです。産休に入ったスタッフ K さんに、録音を贈って楽しんでもらう予定です。こんなにがんばって練習している「糸」なので、ぜひ皆様に聴いていただきたいです。　　(N.M)

花壇の植え替え　（8 面に関連記事）

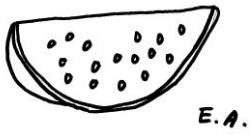
響が毎日手入れしている花壇の植え替えの時期がやってきました。花壇に残っている花や根っこを取り除き、土を下から上へとかきまぜ、土が少なかったので、足しました。土の中からミミズが出てきましたので、良い土の証拠です。花を植えるシュミレーションをし、背の高低などを調節してバランス良く花を植えました。セルビアと一字違いのサルビア・ユリウス＝カエサルと名前が似ているコリウス・フランス革命を想起させる名前のフレンチマリーゴールドなどなど…。今年は花ドロボー対策で「花をとらないで！」という札を作ってみました。キレイで目を楽しませてくれるように育ってほしいです。　　(M.T)

翌日午前中、東十条駅から赤羽東口前へ移動し、プランターの移植。他のボランティアの方と合流し植え替え。ST.W が水道の鍵を忘れ、赤羽事務所から届けてもらうアクシデントがありましたが、無事、事なきを得ました。水やりを定期的にやっていないので、土はパサパサ。今、植えてある花を抜き、深めに穴を掘るのですが、サラサラとアリ地獄状になってしまうありさま。水をジョウロで 3 杯ぐらいたっぷりあげました。区の担当者も、水やりに苦慮されてました。他のボランティアの人も集合「お疲れ様」と解散。われわれも、センターに帰りました。　　(S.M)

プチパーティーでの話

皆でみかんやパイナップルをのせて、生クリームやチョコ、はちみつなども入れそれぞれのプリンアラモードを作りました。今回初めて作った方もいたようで、色々な事件もありました。T さんはふたがはずれてチョコが大量に入ってしまい、逆に K さんは生クリームが大好きで生クリームがいっぱい。対照的な 2 人のアラモードになりました。　　(T.K・T.T)

響の作品展



1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可 （毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 7 月 27 日発行 SSKU 増刊通巻第 6500 号

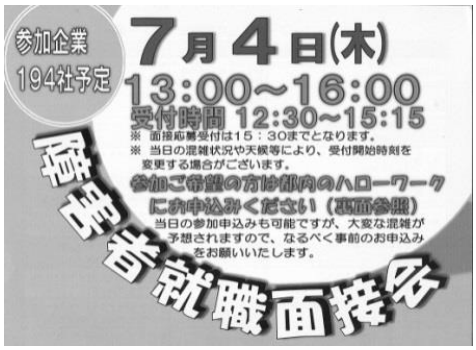
就労移行支援事業

リボーンプロジェクト

〒114-0032 東京都北区中十条 1－2－18
北区障害者福祉センター４F Tel：03-5963-6888

障害者就職面接会に 194 社

7 月 4 日、東京労働局・都内ハローワーク主催の障害者就職面接会に参加してきました。今回は、池袋サンシャインシティの展示ホールで行われ、約 194 の企業が参加していました。開場時には展示ホールへ向かうエレベーターに列ができており、会場内は大勢の人々が行きかって活気にあふれていました。少しでも弱気になると、会場の雰囲気に圧倒されてしまいそうになります。気持ちを奮い立たせながら、かつ落ち着いて面接を受けられるよう、やるべきことを一つずつ丁寧に行うように心がけました。



民間企業の法定雇用率は 2018 年 4 月から 2.2%に引き上げられ、さらに 2021 年 3 月末までに 2.3%に引き上げられる予定です。そのため、人材の募集を継続している企業は多いように感じます。面接会には多数の企業が参加しており、求職者は複数の企業と直接話をすることができます。リボーンプロジェクトの訓練生も、求人一覧表を読み込み、応募企業を選定し、企業研究や履歴書・職務経歴書の作成など念入りな準備をしてきました。良い企業と巡り合い、この努力が実ってほしいと思います。

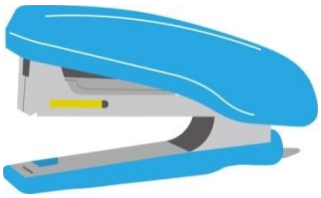
フルタイム求める企業

週 20 時間から応募可能の企業もありますが、やはりフルタイム勤務を対象とする求人が多い傾向にあります。いきなりフルタイム勤務から始め、そしてそれを継続するのはハードルが高いと感じている方はかなり多いと思われます。短い時間での勤務から始めて、段階的に、いずれフルタイムに移行していける取り組みをする企業がもっと増えてほしいと思います。

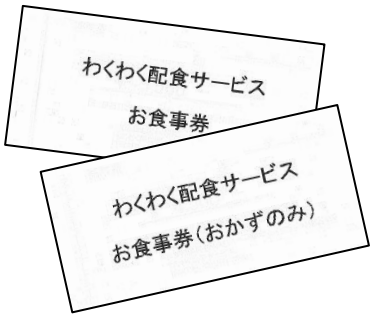
折しも 6 月 14 日に障害者雇用促進法の改正が公布され、2020 年 4 月 1 日に施行が決まりました。この改正は主に官公庁の「雇用率水増し問題」を受けて、官公庁が責任を持って障がい者雇用に取り組むためのものと言われていますが、それだけではなく、「事業主に対する短時間労働以外の労働が困難な状況にある障害者の雇入れ及び継続雇用の支援」に関する措置を講ずるものともされています。詳細はまだわかりませんが、短時間であれば就労可能な障がい者の雇用機会の確保を支援するため、特例的な給付金制度が創設されることとなりました。これを機に、障がいのある方が働ける環境が、ますます増えていくことを願います。

＜日々の業務訓練紹介＞

食券づくり



リボーンプロジェクトでは、法人内の事業、「わくわく配食サービス」の食券作成を請け負い、リボーンプロジェクトで訓練業務として食券づくりを行なっております。手先の器用さを身に付けることや、ご自身の特性をご自身で見極めるためにも、ぜひチャレンジして頂きたい食券づくり。一見、シンプルな 11 枚つづりの食券ですが、実は様々な工程を経て、作成されています。印刷、カッターやはさみを使っての裁断、帳合、背表紙のシール貼り、ミシン目を付ける作業など、一冊仕上げるだけでも、かなりの時間を要するものです。実際に配食弁当をご注文頂いている、お客様が使用されるものを作って頂いています。そんな中、腕に磨きをかける訓練生の方たちは、印刷された細い黒線のど真ん中を必ずカッターで切れる方であったり、本来、複数回カッティングを行なうはずのミシン目付けを、手感覚便りに一発で仕上げる方であったり。そんな仕事ぶりの方と日々過ごしていると、匠の現場を目の当たりにしているようで感動ものです。それぞれの業務訓練でもプロフェッショナルがいるのが面白いところで、またの機会に他の訓練業務もご紹介させて頂きますね。



1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 7 月 27 発行　　SSKU　　増刊通巻第 6500 号

第２回わくわくかん家族懇談会のお知らせ

今年の家族懇談会は偶数月に開催しています。

開催日時：２０１９年８月２７日（火）16:00～
場　　所：障害者福祉センター４階　自立訓練室
内　　容：自立生活について「保健師との関わり」
個人面談：※（事前にお申し込みを）17:00～
連 絡 先：【TEL】03－5963－6888
　　【FAX】03－3906－9997

精神科の拘束、地域差 20 倍に　埼玉・千葉・北海道・神奈川で突出

「共同」が 7 月 14 日に配信した「精神科の拘束で地域差 20 倍　東高西低」と杏林大調査の結果が各紙に載り、大きな反響を呼んでいる。

精神科病院で入院患者のうち手足をベッドにくくりつけられるなど身体拘束された人の割合は、東日本で高く西日本は低い傾向にあり、都道府県別では最大 20 倍の開きがあることが杏林大の長谷川利夫教授（精神医療）の調査で判明した。

厚生労働省が 6 月末に公表した 2018 年度の精神保健福祉資料をもとに、都道府県ごとの入院患者のうち拘束された人の割合を分析したという。最高は埼玉（9.04%）。続いて千葉（8.27%）、北海道（7.74%）、神奈川（7.70%）山形（7.62%）と東日本が上位に並んだ。

これに対し、最も低いのは香川の 0.44%、次いで岡山（0.86%）、宮崎（1.13%）、和歌山（1.26%）、鹿児島（1.34%）、沖縄（1.44%）と続く。全国平均は 4.05% で、埼玉と香川では実に約 20 倍の開きがあった。18 年度に全国で身体拘束された人数は 1 万 1362 人で、17 年度より 1166 人減少した。

精神保健福祉法では、指定医がほかに方法がないと判断した場合にのみ拘束が認められている。報道によれば、患者団体などは「実際には人手不足などを理由に安易に行われ、人権侵害の恐れがある」と指摘、調査にあたった長谷川教授は「不要な拘束が行われている可能性がある」として実態を調べるべきだとしている。

民間で働く障がい者は 82 万人超える　１年以内の離職は４割以上も

働く障がい者が増えている。とくに伸びているのは精神障がい者である。

厚生労働省の 2018 年度調査によると、民間企業が雇用している障がい者は８２万１千人で、５年前の前回調査より２０万人近くも増えている。知的障がい者も約４万人増えている。とくに精神障がい者が前回よりも１５万人も増えた。ただ就職した障がい者の４割以上が１年以内に離職している。とくに精神の離職者が高いという結果が出ている。

私たちリボーンプロジェクトは、こうした就労希望の精神障がい者の就労移行支援事業として模擬企業の形で行っている。私たちの経験では、就労に至る訓練をていねいに行っているためこんなに多くの離職者は生んでいない。就職後も定着支援ということでフォローの面談を定期的に行っていて、企業と相談しながらゆっくり落ち着いて本人が仕事になじんでいくべく努力していることも大きい。７月 20 日には、「第８回ＯＢ．ＯＧ会」が開かれたが、なごやかに今働いての感想が交わされているつながりの「居場所」の意味も大きい。

面　編集後記　　関連記事

７月はたらっくす報告

７月のはたらっくすは、13 日の土にわくわくかんで行われ、参加者は５人でした。それぞれの現在の就労の悩みや状況を話し合いました。皆、しっかりと社会をおよいでいるなぁと感じました。

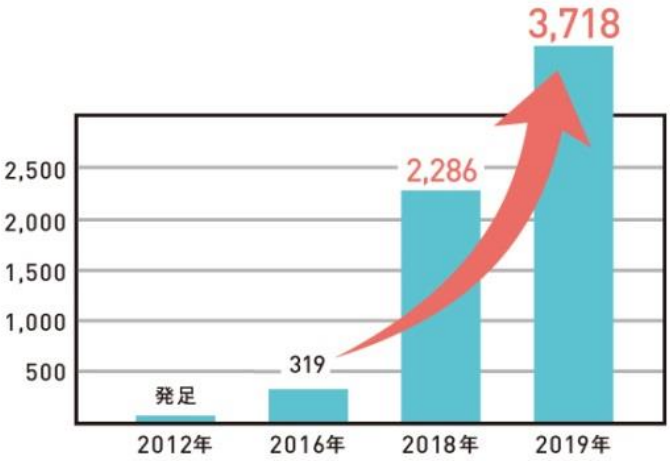
次回のはたらっくすは、８月 10 日の土曜日の 16～18 時まで、わくわくかんで行われます。時間内にいつ来られても帰られても自由の就労ミーティングです。

（M）

1998 年 10 月 9 日　第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 7 月 27 日発行　SSKU　増刊通巻第 6500 号

こども食堂 3 年前の 10 倍に
むすびえ（湯浅誠理事長）から調査報告

ＮＰＯ法人全国こども食堂支援センター・むすびえ（湯浅誠理事長）から全国に広がるこども食堂の現状が送られてきた。これによると、こども食堂はこの 3 年間で 10 倍余の 3,718 事業所にまで拡がった。



これによると、全都道府県で増加し、3,718 箇所にも広がっている。今回の調査で、こども食堂はすでに 6 小学校に 1 箇所の割合で存在しており、子どもの健全な育ちのため、また共生社会のためのインフラとなりつつあることが明らかとなったとしている。すべての子や地域住民がアクセスできる地域共生社会のインフラにまた一歩近づいたともいう。

もっとも箇所数が多いのは、東京都（488 箇所）、次いで大阪府（336）、神奈川県（253）。上位 3 都府県は 2018 年と変わらず。逆に、もっとも箇所数が少ないのは、秋田県（11）、富山県（15）、山梨県（16）。全国の箇所数は、昨年調査（2,286）に比して 1,432 増。その前 2 年の増加ペース（2 年で 1,867）を上回った。

また、小学校区に対するこども食堂の充足率は、沖縄県（60.5％）、次いで滋賀県（52.5％）、鳥取県（35.2%）が上位となった。一方、充足率が低いのは、秋田県（5.5%）、青森県（5.6%）、長崎県（7.0%）であった。充足率 50%超が 2 県。25%超が 6 都府県（東京、鳥取、神奈川、京都、大阪、高知）となり、10%超が上記 8 都府県含めて 36 都道府県。2018 年段階で 10 県あった 5%未満は 0 に解消した。

充足率のもっとも高かった沖縄県の子ども未来政策課長下地常夫氏は、箇所数調査の結果を受けて、次のようにコメントした。2015（平成 27）年度に沖縄県が実施した子どもの貧困実態調査により、子どもの貧困率が 29.9％と全国の約 1.8 倍であることが明らかとなり、全国に比べ特に深刻な子どもの貧困状態に対応するため、平成 28 年度に内閣府が「沖縄子供の貧困緊急対策事業」を創設しました。

沖縄、居場所による支援重視

これまで同事業を活用し、県内 26 市町村、134 箇所に居場所が設置（2018 年 10 月１日現在）されるなど、居場所の整備が急速に進んでおります。

しかし、県内 41 市町村中、居場所が設置されているのは 26 市町村となっており、県内全小学校区の約７割では居場所が未整備となっているなど、課題もあります。

このため、沖縄県では、今後も居場所の設置を図っていく必要があると考えており、今年度より、居場所開設にかかる講座の実施や開設に必要な経費を補助する事業を開始するほか、居場所のネットワーク組織を設立し、居場所同士の情報交換や企業等からの支援受入などの中間支援を行うこととしております。

居場所による支援は、子どもの学習理解度や対人関係、自己効力感などに効果があり、保護者と子どもの関係においても前向きな変化が見られることが明らかになっていますので、引き続き、居場所支援を継続してまいりたいと考えております。

現場からの報告（24）

刻み食やペースト食を担当

縁ありまして、わくわく配食サービスのパートのおばちゃんとなり 1 年が経ちました。障害者福祉センターの小さい調理室で、生活介護の支援室に通う方々の給食の調理補助をさせていただいております。区の栄養士の先生のご指導の下、食材の大きさや固さ、調理方法などに配慮し、通所者さんのニーズに合わせた 6 種類の形態の給食をつくっています。

私は主に刻み食やペースト食を担当してきました。常食の形でできあがった料理をハンドブレンダーという機械で攪拌し、とろみ剤で調整してなめらかに飲みこみやすくします。咀嚼や嚥下などに心配な方が安心して食事ができるように再調理をする責任ある作業です。

ブレンダーをかけた料理はみな一色でとろりとした同じ形状になってしまいます。それでもおいしそうに見える盛付を心掛けて取り組みますが、限られた時間に加え、親より譲り受けたセンスの無さと自身の知識の薄さ、手際の悪さに日々歯がゆい思いをしています。

調理室の向かい側には支援室があります。通所者さんたちから「おはよう」「おつかれさま」「おいしかったよ」「仕込み頑張って」と声がかかります。ありがとう。おばちゃんは皆さんの笑顔と優しい言葉に支えられて今日もがんばります！

（配食サービス S）

1998年10月9日第三種郵便物認可　　（毎月3回8の日発行）
2019年7月27日発行　　SSKU　　増刊通巻第6500号

足熱しからだも熱し痛し苦し
かく叫びいて今日も明けゆく
自らを他人と比ぶることなかれ
同じいのちはほかに一つなし
恐ろしき事件ならずや十九人
元職員に刺殺さるとは

映画『えんとこの歌』

寝たきりの歌人＆介助の若者との触れ合い

脳性まひで35年間寝たきりの遠藤滋さん（72）。介助の若者たちと触れ合い、ベッドの上で数々の短歌を詠む姿を記録したドキュメンタリー映画『えんとこの歌』の上映が新宿K’s cinemaで始まった。監督は、遠藤さんとは学生時代の友人でもあり、1999年にも同じく遠藤さんの日々を3年間追ったドキュメンタリー「えんとこ」を手がけた伊勢真一さん。「えんとこ」とは「遠藤のいるところ、縁のあるところ」の意で、脳性まひで寝たきり生活を送りながらも、自ら介助者のネットワークを組織した遠藤さんのこと。

伊勢監督は、2017年夏、神奈川県相模原市で起きた、障がい者大量殺人事件を知ってすぐに遠藤さんを思い出し、20年近い時間を経て、ありのままの命を生かしあいながら生きることの大事さを再びその介護の日々と心の交流を写し続けた。

ベッドの上での生活は35年を過ぎ、障がいも進行、しゃべることも食べることも困難になっていたが、遠藤さんは50代後半から短歌を詠むようになり、心の叫びを言葉に託す日々を送っていた。そんな彼と介助者たちの心の交流を通して、ありのままの命を生かし合いながら生きる人々の姿を浮かび上がらせる。それは遠藤と伊勢との２５年に及ぶ相聞歌だという。東京から神奈川での上映がつづく。

医薬品の裏側―クスリの飲み方を考える

――――『社会運動』7月号が特集

一般社団法人市民セクター政策機構の発行する『社会運動』7月号（№435）では、特集:『医薬品の裏側―クスリの飲み方を考える』を発行した。

ここでは、薬をめぐるいくつかの風景として、**Ⅰ医薬品問題の構造**として、薬の裏側を私たちは何も知らない（専務理事/白井和宏）、新薬販売のために設定した製薬会社の巧妙な仕組み（ジャーナリスト/鳥集徹）、薬にはやめどきがある（医師/長尾和宏）、TPPは薬剤にどんな影響を与えるか（日本医療総合研究所/寺尾正之）、「正常病」から、逃れるために（社会学者/井上芳保）がそれぞれ執筆している。

Ⅱクスリの飲み方を変えてみるでは、「よく効く薬」とは何か（薬剤師/深井良祐）、「治療より快復」を支援する草の根の活動―精神科の多剤大量処分を被害者の立場から考える（全国オルタナティブ協議会/中川聡）などを特集している。

寄稿

～ハンセン病家族訴訟勝訴判決を受けて～

偏見と差別をなくす取り組みに向かって

今回の判決は、「偏見差別を受ける一種の社会構造を形成」したのが国であり、その責任を認めたことが重要です。国の政策によって家族も親や兄弟を疎ましく思ったり、憎んだりするように仕向けられました。加害者に仕立て上げられたのです。それは私たち市民にも当てはまります。そこからの解放が課題です。それは、支援者ではなく当事者になることです。「支援する・支援される」という関係をこえ、国に責任を果たさせるように働きかけることが原告たちと連帯し、当事者となることです。

2001年５月の熊本勝訴判決から、「ハンセン病問題に関する検証会議」や「ハンセン病問題基本法」の制定などもありましたが、ハンセン病問題への関心は徐々に薄れ焦点が外れていったことは否めないでしょう。判決確定直後の６月には「池田小学校事件」が起こり、「精神障害者と犯罪」との枠組みの報道が溢れ、精神疾患のある人を危険視する風潮が強まりました。そのとき、ある原告の方は精神障害者団体主催の集会で講師として、精神疾患の人をハンセン病者と同じように地域社会から排除し隔離することに対して警鐘を鳴らしました。

その後、アメリカで「同時多発テロ」が起こり、治安対策が強化されました。一般市民にはハンセン病問題も次第に遠くなり「困っているかわいそうなお年寄りたちが裁判に勝って、お金をもらえてよかった」との認識になったようです。そのような意識が2003年の宿泊拒否事件とそれに続いて誹謗中傷や「善意」でお説教をして諭す文書が大量に菊池恵楓園の自治会に送られてきた背景でしょう。

日本では新たに発病する人も殆どいないので、ハンセン病問題は貧しい国々の問題で、終わったと多くの人が思っています。そのような状況で、家族訴訟はハンセン病問題の核心を突くものでした。原告たちは身を切る思いで立ち上がり、言いたくないことや思い出すのも辛い経験を証言しました。そのことによって、偏見差別を受ける立場に置かれる社会構造に焦点が当たり、可視化されました。当事者にとっては厳に存在しているのに、世間ではないことにされてきた差別の社会構造を変えることは市民の課題です。

浜崎 眞実（カトリック司祭）

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可 （毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 7 月 27 日発行 SSKU 増刊通巻第 6500 号

夏の花壇

自立訓練ボランティア響会(通称ひびき)ではボランティア活動として障害者センターのそばにある中央公園のプランターのお手入れをさせていただいています。毎朝の水やり、プランター回りの方との会話や、通りすがりの方からの清掃・・顔見知りになった犬の散歩中しみながら活動しています。先月は夏に「ご苦労様！」の声に癒されながら、楽った時はぜひ見てくださいね！向けて花の植え替え作業をしました。通

千日草　花言葉　「変わらない愛」「色褪せぬ愛」「安全」
アメリカからきた花だそうです。今回は白と赤を植えました。

コリウス　花言葉「慎み深さ」「かなわぬ恋」
しそ科の植物で、花は咲きませんが色鮮やかな葉っぱが特徴です。

フレンチマリーゴールド　花言葉「絶望」「悲哀」「嫉妬」
ちょっとびっくりな花言葉が並んでいますが、西洋で黄色はネガティブな色なんだそうです。とても丈夫な花としても知られています。

ポーチュラカ　花言葉「無邪気」「元気」「自然の愛」
もりもり育ち、次から次へとかわいらしい花をつけてくれる植物です。
自由に伸びていくので、今回は花壇の淵側に植えました。

サルビア　花言葉　「尊敬」「知恵」「家族愛」
夏の花壇にぴったりで人気の真っ赤なお花です。ブラジルから輸入された花だそうで、食用のものは「セージ」と呼ばれています。

就労支援センター北わくわくかん

登録者（2019年６月末）853 名
就職者　８名(事務６人　清掃１人
ケアマネージャー1 人)

先月　ご協力いただいた皆様

東京都労働局・東京都精神保健福祉民間団体協議会・北区障害福祉課・北区健康推進部・北区社会福祉協議会・北区障害者福祉センター・ハローワーク王子・池袋・飯田橋・東京障害者職業センター・東京しごと財団・東京都立精神保健福祉センター・東京都立王子特別支援学校・北区社会福祉協議会・北区教育委員会・津久井やまゆり園事件を考え続ける会・部落解放同盟神奈川県連合会横浜市協議会・東京ワーカーズコレクティブ協同組合・あしたや共働企画・特定非営利活動法人のらんど・社会的企業研究会・企業組合あうん・ワーカーズコレクティブ協会・ともっと事業体・シャロームの家・NPO 法人太陽と緑の会・認定ＮＰＯ法人やまぼうし・オレンジコープ等、お世話になりました。

グループホームわくわくかん

現在 3 名の女性の利用者さんが入居中です。1 階に入居中の I さんは、詩が得意で誰とでもすぐに仲良くなれます。Ｋさんは絵と歌が上手でご自分の世界観をしっかりもってらしゃいます。2 階に 6 月から入居されたＫさんも、偶然ですが素敵な絵を描かれ、訪問の際には必ず職員に良い香りのお茶を用意して待っていてくだいます。そして現在、2 階の単身アパートタイプのお部屋が空いています。このお部屋は一人暮らし用の間取りになっているので、一人暮らしをしたいけど不安を感じて一歩が踏み出せない方にお勧めです。「いつ一人暮らしするの？」「今でしょ！！」

▼編集後記▼

6 月 25 日、公表された「障害者雇用実態調査」では、民間で働く精神障がい者は大幅に増えて２０万人、発達障がい者は３万９千人。5 年前の調査方法と異なるため精神障がい者は大幅に増加している（前回４万８千人）。等級を見ると 2 級が 46.9%で最も多い。疾病では「統合失調症」が 31.2%と多い。週所定労働時間では、精神障がい者は週 30 時間以上 47.2%、20 時間以上は 39.7%、週 20 時間未満 13.0%と身体・知的よりも短時間である。雇用している障がい者への配慮事項として、精神と発達の人たちが「短時間勤務状況への配慮」がともに 70%を超えている。各紙が精神障がい者の離職率が高いと報じるのは、現在の障がい者就労が当人目線ではなく雇用率アップの会社目線で進められているからではないか。イギリスで 1998 年から実施されたトランポリン型福祉は 149 万人の若者就労をつくったとされるが、今では就労してすぐにやめてしまう政策の失敗として見られている。4 割の人が 1 年以内で辞めるという状況はそこに叫びがある証しだ。

発行所　郵便番号 157-0073　東京都世田谷区砧 6-26-21　特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会　定価 100 円(会費に含む)